

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-11
事務事業名	和気北部衛生施設組合負担金事業	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 和気北部衛生施設組合規約
事業開始年度	昭和41年度～	問合せ先	担当課(室) 環境課 職・氏名 衛生係長・森本和成 電話 64-1821
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	
	小項目 施策	ごみ処理	

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	ごみ(一般廃棄物)の処理を必要とする日生地域の市民・市内事業者。 ごみ(一般廃棄物)の収集・処理を必要とする吉永地域の市民・市内事業者。
目的 (何のために)	市が加入している和気北部衛生施設組合のごみ収集・処理経費、福祉バス運行経費及び和気鶴飼谷温泉建設による公債費に係る分担金の納付
行政活動 (どのような方法で)	和気北部衛生施設組合分担金の納付
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	日生地域・吉永地域のごみ処理を効率的かつ適正に行う

事業の実績					
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
ごみ負担金(日生地域分)	円	48,873,000	39,925,000	39,637,000	
ごみ負担金(吉永地域分)	円	39,224,000	33,505,000	36,892,000	
ごみ処理量(日生地域分)	t	1,995	1,925	1,817	
ごみ収集・処理量(吉永地域分)	t	1,167	1,179	1,092	
バス運行(吉永地域分)	円	3,864,000	3,149,000	3,379,000	
活動実績					
事業費	直接事業費	91,961	76,579	79,908	
	人件費	千円 235	225	1,266	
	事業費計	92,196	76,804	81,174	
財源	国県支出金	0	0	0	
	受益者負担	0	0	0	
	市一般財源	92,196	76,804	81,174	
必要人員	人	0.05	0.05	0.13	
結果指標					
結果指標	ごみ処理量(日生地域分)	説明	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	t	1,995	1,925	1,817
	対前年比	%	-	96.5%	94.4%
	活動コスト	円			
単位当たりコスト	円				
結果指標	ごみ収集・処理量(吉永地域分)	説明	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	t	1,167	1,179	1,092
	対前年比	%	-	101.0%	92.6%
	活動コスト	円			
単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	1人1日あたり可燃ごみ排出量(g)	式又は説明	ごみ排出量/(人口*365日)
成果指標量	17年度 622	18年度 622	19年度 592
対前年比		99.97%	95.15%
到達目標値	550	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
妥当性の評価	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	和気北部衛生施設組合は、備前市、赤磐市、和気郡和気町をもって組織されており、ごみ処理施設、斎場及び和気鶴飼谷温泉の運営を行っている。吉永地域についてはごみの収集から処理までを行っているが、日生地域についてはごみの処理のみを依頼している。	
	事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	対象を見直す必要がある	効率的な評価	C
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		課題認識
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	和気北部衛生施設組合規約により、ごみ処理施設の運営費、福祉バスの運行経費及び和気鶴飼谷温泉の建設費の負担金・分担金を納付する。負担金は利用量により算出される部分もあるため、ごみの減量化により努める必要がある。	
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	本市が関与しなければならない事業である	有効性の評価	C
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		課題認識
コスト	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	和気北部衛生施設組合規約により、ごみ処理施設の運営費、福祉バスの運行経費及び和気鶴飼谷温泉の建設費の負担金・分担金を納付する。負担金は利用量により算出される部分もあるため、ごみの減量化により努める必要がある。	
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、分担金を納付している。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。	
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	受益者負担額を見直す余地がある	有効性の評価	C
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		課題認識
目的達成度	最適な手段を求め職場内で改善している	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、分担金を納付している。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。	
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
成果向上の可能性	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、分担金を納付している。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。	
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、分担金を納付している。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。	
	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		

平成20年度の状況		説明	和気北部衛生施設組合規約により、ごみ処理施設の運営費、福祉バスの運行経費及び和気鶴飼谷温泉の建設費の負担金・分担金を納付する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 1,750	結果指標量	1,050
成果指標量	580		

総合評価		評価区分 <A-E>	C
備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、施設の運営費、建設費の負担金・分担金を納付しなければならない。負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果